

くらしたい国、富山

とやまファン  
倶楽部

No.24

2010



CONTENTS

リレーエッセイ 23/福川 伸次	2P
第15回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
とやま賞	4P
「夢の卵」育成事業	5P
会員交流広場	6P
富山県からのお知らせ	7P

## 産業のニュートレンドが拓く富山の未来

福川 伸次さん



プロフィール

福川 伸次(ふくかわ しんじ)  
財団法人 機械産業記念事業財団  
会長。  
1955年 東京大学法学部卒業。通  
商産業省(現 経済産業省)入省。  
内閣総理大臣秘書官、産業政策局  
長、通商産業省事務次官などを歴任。  
1988年 通商産業省退官後は神戸  
製鋼所副社長、同副会長、電通総  
研研究所長、電通顧問などを経て、  
2005年現職。  
現在、政府審議会委員、日米、日EU  
および日中などの各種委員会委員  
等に就任。  
『21世紀・日本の選択』『日本への  
警告』をはじめ国際問題、日本の道  
路等に関する著書多数。

私は、20世紀が「経済の世紀」、「技術の世紀」であるとするならば、21世紀が「人間の世紀」、「文化の世紀」になると考えている。グローバル化が進めば進むほど、人々は、自らの存在意義を「人間価値」、「文化価値」に求めるようになるからである。

富山は、自然、文化、食、産業などの「富」の源泉を「山」ほど持つ地域である。とりわけ私が強く印象を受けることは、「いい人」が多いことである。富山は、創造的な経済人を多く輩出してきたし、学力も上位を占めてきた。かねてから住みよい土地ランキングの上位に位置し、富山の魅力に惹かれて「いい人」が集うところなのである。

技術は、これまで、産業の国際競争力の強化に貢献してきた。日本もその成長過程で企業の技術力を高め、新規の研究開発を進め、産官学の交流を促進してきたが、その目指すところは、国際貿易において比較優位な状態を導くことにあった。

しかし、今や技術はそれを超えて人間

の機能を向上し、精神的な充足をもたらす、生活を豊かにすることにその発展方向を移している。この傾向は富山の「人」と「富」を生かす絶好の機会である。

電子通信情報技術(ICT)は、先ず医療、介護、健康などの分野を発達させる可能性をもつ。医療上の診療、検査、手術などは、ICTの発達によって正確性と安全性を画期的に高めている。欧米の先進企業は、競って医療機器の開発に取り組んでいる。日本では、他の欧米先進国に先駆けて高齢化が進み、一方介護従事者が不足するとすれば、入浴、移動、食事などの支援介護ロボットの開発は不可欠である。富山県で生産されている癒しのロボット「パロ」は内外で好評である。

ICTの進歩は、産業と文化の融合をもたらす。電子通信情報技術の進歩は、バーチャルでありながらアナログに負けない感性的な表現を可能にする。両者は、今や相乗発展の過程に入った。

産業と文化の融合は、まず商品やサービスの文化価値の高度化に表れる。技

術の進歩によって性能や品質の差異がなくなってくると、消費者は、デザインの魅力、感性への刺激などで嗜好するようになる。自動車、家電製品、携帯電話、ファッションなどはその典型である。CADやCAMの進歩はそれに応えるツールを提供してくれる。

世界中で日本食ブームが続いているが、これも日本の調理技術や感性の進化の結果である。都市間の競争が激しくなっているが、都市のデザイン、文化性、住み好き、活力などが世界の人々を惹き付ける要素となっている。

また、ICTは文化表現を多様化する。日本のアニメやゲームソフトなどのコンテンツは、世界中の若者を魅了し、映画、ミュージカル、演劇などでもバーチャル表現を大幅に取り入れている。1980年代頃から原宿と並んで渋谷がギャル・ファッションのメッカとなり、彼女達はマルチ・ブランドをコーディネートして「十人十色」ならぬ「二十人十色」のファッションを楽しんでいる。

さらに、ICTは文化の伝達手段を

高度化する。音楽にしても映像にしても、ステレオやDVD、スーパーハイビジョンなどの出現によってその表現が格段に向上した。加えてスマートフォンなどによる無線通信の発達も、文化への接触機会を飛躍的に拡大させている。

ICTの進歩はそのほか様々な分野で人間機能の充実や生活の質の向上に貢献するに違いない。例えば、教育の手法や機会の多様化、時間の効率的な活用、自然と環境の保全、観光機能の拡充、安全と安心の確保などである。

これらの現象は、集約して言えば、産業社会のイノベーションが20世紀型の供給先行型から21世紀型の需要誘発型に移行することを示すものである。まさに「好まれるものを創る」ことへの挑戦である。

この傾向は、人間が主導するものなのである。「人」を大切にしている富山県はこの点で優位に立つ。私は、富山県がこうした産業のニュートレンドを捉えて、新しいイノベーションを先導し、その未来を拓くことを心から期待している。

# 第15回とやまファン倶楽部会員交流会

開会挨拶



石井知事

開会挨拶



中沖理事長

開会挨拶



川田代表世話人

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が7月20日(火)にホテルフロラシオン青山(東京)で170余名の会員の皆様の参加のもと盛大に開催されました。  
会場内では、新たに世話人及び会員となられた方々を紹介したほか、「夏マグロ」や「シロエビ」をはじめ富山の新鮮な食材を使った料理や地酒を用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、示唆に富んだご助言・ご提案を多くいただきました。

挨拶



宮腰衆議院議員

乾杯



綿貫 民輔 氏

お礼の言葉



鹿熊県議会議長



新世話人の皆様紹介



新入会員の皆様紹介



いきいき富山館からのお知らせ

TOYAMA  
FAN CLUB



◆ 第27回の受賞者 ◆

とやま賞

東北大学電気通信研究所  
助教  
吉田 真人氏



学術研究部門 (フォトラス)

富山大学大学院医学薬学研究部  
准教授  
恒枝 宏史氏



学術研究部門 (神経科学)

岡山大学病院遺伝子・細胞治療センター  
助教  
田澤 大氏



学術研究部門 (遺伝子治療学)



富山県立大学工学部  
准教授  
尾仲 宏康氏



発明発見部門 (生物工学)

高岡市万葉歴史館  
総括研究員  
新谷 秀夫氏



学術研究部門 (国文学)

とやま賞とは

「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で27回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者又は富山県内在住者とし、学術研究、発明発見、芸術文化及びスポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人又は団体を対象としており、県内外で活躍されている方を表彰し、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式及び記念講演会は、5月26日(水)に富山国際会議場メインホールで行われ、学術研究部門で4名、発明発見部門で1名の、計5名の方々が受賞されました。

第27回 贈呈式及び記念講演会

■ 贈呈式

- ◆ あいさつ / 理事長 中沖 豊
- ◆ 選考経過報告 / 選考委員長 金岡 祐一
- ◆ 「とやま賞」贈呈
- ◆ 祝辞 / 富山県知事 石井 隆一  
富山県議会議長 鹿熊 正一
- ◆ 各受賞者の言葉

■ 記念講演会

- ◆ 講師 高橋 卓志氏  
(宗教法人 神宮寺代表役員 住職)
- ◆ 演題 「より添う」ということ



「夢の卵」  
育成事業

子どもたちにいろいろな可能性を秘めた夢を数多く持ってもらい、自分の将来について考えてもらうため、将来の夢を書いた作文を募集し、優秀者を各分野の第一人者のもとに派遣する事業です。

今年度は 1051 作品の応募があり、その中から選ばれた5名の子どもたちに、夏休み期間中、夢に一步近づいてもらうために、短期入門してもらいました。

## 小学生の部

射水市立作道小学校6年 高瀬 伊音さん

入門  
内容

「抜群の体力と頭脳で火から人を守る消防士になりたい」という夢を抱きながら富岡豊彦さん(東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊:ハイパーレスキュー)に短期入門しました。



高岡市立福岡小学校5年 坂本 壘さん

入門  
内容

「世界中の災害から人を助けるレスキュー隊員になりたい」という夢を抱きながら富岡豊彦さん(東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊:ハイパーレスキュー)に短期入門しました。



富山市立奥田小学校6年 安間 萌優さん

入門  
内容

「人を感動させる日本一のフィギュアスケート選手になりたい」という夢を抱きながら岡島功治さん(明治神宮外苑フィギュアスケートクラブ)のもとに短期入門しました。



## 中学生の部

富山市立奥羽中学校2年 東山つぼみさん

入門  
内容

「国境なき医師団に入って、世界にいる多くの人の命を助けたい」という夢を抱きながら大友仁さん(JICA国際緊急援助隊)のもとに短期入門しました。



富山大学人間発達科学部  
附属中学校2年 伊野 帆南さん

入門  
内容

「対話を通して心を救う心理学者になりたい」という夢を抱きながら瀧上凱令さん(放送大学兵庫学習センター)に短期入門しました。



# 会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部紹介～

今年度の会員交流会(7月20日(火)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp/fan/main10-01.html>)に掲載させていただいております。「富山県への助言」の一部をご紹介します。



多くの会員の皆様で賑わった会員交流会

コンパクトシティづくり、環境都市づくりをより一層推進させて下さい。

「ふるさと文学館」は、文学だけではなく広く文芸全般についての構想を期待します。

富山県は積雪も少なくなり、日本一、水、米、魚がおいしい住みよい県ですから、観光と移住に力を入れてください。私は富山県人であることを、いつも自慢しています。

外国人向けの観光ガイド図書に富山県内の名勝史跡案内に努力(出版社への営業努力など)すること。

前向きな富山県民の方々に、日本がこれから進むべき道を身をもって示すチャレンジを期待しています。

天然の「生け簀」と言われている富山湾をもっと活用し、PRして、海からの観光客を増やす努力が必要です。山海の珍味と合わせ、四季を通じた「おもてなし」を期待しています。

暖かい人の輪をさらに発展。

地域は多様化の時代、日本全国が同じなんて気持ちが悪い、もっと独自性を出していくべきだと思います。

富山はもっと自慢してください。

弥陀ヶ原と室道周辺でのリゾート化(長期滞在化)をはかるべき。長期滞在の特典、ガイドツアーの充実など。

北陸第一の大拠点都市富山、形成をめざした都市づくりを鮮明に打ち出すこと。

静岡県と協力して、対極にある太平洋と日本海が自然や文化の素晴らしさを宣伝したらどうでしょうか。富士山と立山、駿河湾と富山湾、安倍川と神通川、しらすとしろえびとほたるいがあるなど。

東京から関西から富山へ旅をしたい方は沢山いらっしゃいます。食(季節感溢れる品の紹介)、特産品(木彫り、塗り物他)、観光地(温泉、宿泊先、価格)を折り込んだ観光ルートを作成する。滞在日数毎に分けた簡単な印刷物が駅に有れば非常に旅をしやすくなる。

ヨーロッパアルプスのような、国際山岳都市として親しまれるようになれば素晴らしい。近くの中国から富山に足を入れ、東京に何うような流れが深まればよい。

スポーツ後進県である事が淋しい。スポーツ、芸能、芸術、文化活動にもっと力を入れてもらいたい。

良い所がいっぱいあるのでPR方法を考えてみては。自然豊かなところをゆるキャラでアピールするとか。

富山のイメージアップに相当努力され、首都圏に富山のイメージが良くなっているように思います。より一層頑張ってください。

富山の魅力をもっと全国にアピールすべき。東京、大阪という大都市圏から遠いという先入観があり、良さが充分認知されていないと思われる。

直近、飛騨経済圏との観光交流が力強く動いているが、全県観光に力点を置き、加えて各地の物産、料理をPRして下さい。空、陸とも一段と便利になっており、前進、充実を信じています。

## 首都圏在住の若者ネットワーク「acoico(アコイコ)」

県では、首都圏に在住している20～30歳代の富山県出身者及び富山県を愛する方のゆるやかなネットワークacoicoを支援しています。

「あこいこまいけ～」という富山弁が由来のacoicoは、県出身の若者等の交流の促進を目的に富山を愛する有志によりボランティアで運営され、様々な若者同士の交流会や知事との意見交換会などを開催しています。

2月26日(土)には、acoico最大の交流イベントである「acoico fes2011」がホテルフロラシオン青山(東京都港区南青山4-17-58)で17時から開催されます。fes2011の詳細などイベント情報や富山関連情報をメールマガジンで配信していますので、是非、ご登録ください。登録はこちらから→acoicoHP([http://acoico.net/pc\\_index.html](http://acoico.net/pc_index.html))



H22.12.19に開催された「acoicoと知事の意見交換会」参加の皆さん

(問い合わせ先)

acoico事務局(富山県知事政策局管理担当)

TEL:076-444-4494

## あなたの応援で富山県を元気に! — 元気とやま応援寄附金 —

「元気とやま応援寄附金(ふるさと納税)」は、富山県に寄附をされると、所得税や住民税が軽減される制度です。

皆さんからいただいた寄附は、「元気とやまの創造」のために大切に活用させていただきます。

ふるさと富山県の人づくり、地域づくりを応援したいという皆さんの思いをカタチにしてみませんか。

◇所得税・住民税の軽減例

給与収入700万円で4人家族(夫婦・子ども2人)の方が、3万円寄附されると、所得税と住民税が25,300円軽減され、実質的な負担は4,700円となります。

(問い合わせ先)

富山県税務課 元気とやま応援寄附金担当

TEL:076-444-3178

富山県HP <http://www.pref.toyama.jp/>

「元気とやま応援寄附金」をクリックしてください

# TOYAMA FAN CLUB



## 問合先

### ■事務局

財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000/FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

### ■連絡所

富山県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030/FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811/FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

TEL052-261-4237/FAX052-263-7308